

# 琉球漆芸とJAPAN暮らしの漆器展

今回は当館の漆器コレクションの中から、琉球漆芸に加えて日本の漆器を特集します。日本人にとって漆器は暮らしに身近なものでした。桃山時代から江戸時代の日本各地の漆器を「暮らしの漆器」をテーマに紹介します。

## ○第1室 琉球王国の漆芸

琉球王国時代の漆芸の歴史を紹介します。中国皇帝への朝貢品や王国末期の王府高官の歌を刻んだ漆器などを展示します。

## ○第2室 沖縄の塗物（ぬいむん）

19世紀ころから王府の御用漆器以外にもさまざまな漆器が作られ、一般へと広がりました。「ぬいむん」と呼び親しまれた昭和初期までの漆器を紹介します。また、表紙の「琉球風俗図」を展示いたします。

## ○トピック展示

第3室入口で日本の絵画と版画を紹介します。

- ・「錦秋」岡信孝 日本画 / 現代 前期：10月13日(土)～12月21日(金)
- ・「天女乱舞」池田満寿夫 1988年
- シルクスクリン：屏風 後期：12月22日(土)～2月3日(日)

## ○第3室 漆の国・日本

西洋でJAPANといわれた南蛮漆器をはじめ、桃山時代の蒔絵、和歌山県根来塗、滋賀県朽木盆、奈良県吉野絵、岩手県秀平椀、石川県輪島塗や長崎県の長崎螺鈿など日本の各地の漆器を幅広く紹介します。

## ○第4室 暮らしの漆器

室内で使用する家具や道具などの調度、仏具、祝いの道具、おもてなしの器など用途にあわせて紹介します。日本人の暮らしによりそってきた漆器の世界をお楽しみください。また、葛飾北斎「雪月花」校合摺りも合わせて展示します。

## ○第5室 漆と漆器にまつわる体験型の展示

岩手県二戸市浄法寺町で現在行われている漆掻きの映像をご覧ください。また、さわれる漆器コーナーを体験してみてください。

【会 期】2018年10月13日(土)～2019年2月3日(日)

【観覧料金】一般200円(160円) 65歳以上…160円  
大学生130円(100円) 高校生以下…無料

\* ( ) は20名以下の団体料金

【会 場】常設展示室

【関連講座】「茶席の漆器と懐石料理のはなし」宮島宗京 裏千家教授  
10月27日(土) 14:00～16:00  
定員40名 申込不要

\* 要観覧料(きらきら展または常設展観覧チケット)

【呈茶とギャラリートーク】10月21日(日) 11:00～14:00

※ 観覧会料金込み

【料 金】常設展のみの方一般…400円

企画展観覧の方一般…1000円 \*小中学生など各料金あり  
(特別協力：裏千家淡交会沖縄支部青年部)



黒漆雲龍螺鈿大盆  
琉球：18～19世紀



朱漆輪島天狗銚子  
石川県輪島塗：江戸時代

# ご 案 内

## ◆実習教室

◇螺鈿教室(全5回) 銘々皿に貝で文様をつけます。

【募集期間】9月1日(土)～9月20日(木) 電話受付

【開催期間】9月30日、10月7日、14日、20日、28日  
(日曜日 \*午後2～4時)

10月20日土曜日のみ午前10時～正午

【講 師】糸数政次氏(沖縄県立芸術大学教授)

【定 員】10名(全5回出席できる人) 【費用】3,500円

◇金繕い教室(全5回) 割れた陶器を漆で修復する技法を学ぶ教室です。

【募集期間】平成30年10月

【開催期間】平成30年11月～12月 【定員】10名

◇紅型教室(全5回) 紅型の型染め技法を学ぶ教室です。

【募集期間】平成30年12月

【開催期間】平成31年1月～2月 【定員】10名

※「金繕い」と「紅型」教室の詳細はHPか電話でお問い合わせ下さい。

## ◆体験教室

◇うるしの日体験教室(全1回)

11月13日うるしの日に合わせ、漆の体験教室を開催します。

【募集期間】平成30年10月 【開催期間】平成30年11月

【定員】10～12名

## ◆美術館講座

◇琉球の漆文化と科学2018

【会 期】11月3日(土) 13:30～

## ◆企画展スケジュール

※会場は全て企画展示室1～3、講堂

◇比嘉康雄・上井幸子写真展

【会 期】11月2日(金)～11月7日(水)

◇「仲地のぶひで展」OKINAWAのイラストレーター

【会 期】11月8日(木)～11月18日(日)

◇浦添市文化協会 第37回文化祭

【会 期】11月23日(金)～11月25日(日)

◇大平特別支援学校美術展

【会 期】11月30日(金)～12月9日(日)

◇第34回浦添工業高校デザイン科卒業作品展

【会 期】12月12日(水)～12月16日(日)

※すべての行事の日程は都合により変更になる場合があります。

編集・発行 浦添市美術館  
URASOE ART MUSEUM

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1丁目9番2号

TEL:098-879-3219 FAX:098-878-1221

http://museum.city.urasoe.lg.jp/

浦添市美術館 | 検索



美術館HPへGO!

# きよらさ85

浦添市美術館ニュース 2018年9月1日(年2回発行)

きよらさ：「美しさ」「きよらかさ」を表す琉球の古語



平成30年度 第Ⅱ期常設展 展示作品「琉球風俗図」

## 作品解説

軽快な三線の音が聴こえてくるようです。本品は座敷遊びの様子を描いた珍しい絵で、作者や製作地は不明です。女は手の甲にハジチ(入れ墨)を入れ、お囃子の男の着物は格子に花織か、踊る男も色白で花形の簪をさしています。朱塗りの高御膳には碗に赤く染まった花イカや煮物など肴が並び、黒塗りの膳には皿にゴボウの煮付けが盛られ美味しそうです。湯桶や酒瓶、四方盆に御猪口、煙草盆と煙草入れ、背景に屏風や筆筒など様々な道具が描かれています。恨めしそうに覗き見る人物は給仕係でしょうか、座の盛り上がりをリアルに伝えます。

金城聡子

浦添市美術館  
URASOE ART MUSEUM

平成30年度自主企画展

# きらきらひかる展 世界の輝く宝もの

主催：浦添市美術館

浦添市美術館では、平成30年度オリジナル企画展として「光るもの」「輝くもの」をテーマに、琉球や日本の美術工芸品を中心として世界の民俗・文化を紹介する「きらきらひかる展—世界の輝く宝もの—」を開催いたします。

私たちを魅了してやまない金や宝石、ガラスといったキラキラときらめくものは、太古の昔、信仰の対象物を輝かせる重要な素材でした。人々にとって命を育む太陽や炎、神や仏は、輝く存在として崇められてきました。そして、権力者は自分の威光を示すため神々と同じように輝くものを身に付け、その威厳を外へ表現しました。人はみな輝くものに魅せられ、身にまとってきた歴史があります。さて、日本の工芸品に目を向けると、屏風などには金箔が用いられ、陶芸では金襷手があります。漆器にも金を用いた蒔絵や沈金、箔絵といった技法のほかに、貝を用いた螺鈿技法があり、これらは作品を美しく輝かせています。

本展ではきらめく素材や、それで表現しようとしたもの、装身具や身の回りを飾るものを5つのコーナーに分けて約70件紹介します。今回浦添市にて初展示となる尚家資料の国宝「金装宝剣拵（号 千代金丸）」【所蔵先：那覇市歴史博物館】や沖縄県南城市斎場御嶽出土の重要文化財「金製勾玉ほか」【所蔵先：南城市教育委員会】をはじめ、重要文化財「色絵五艘船文独楽形大鉢」（有田焼）【所蔵先：サントリー美術館】を紹介し、ほかにも金糸が美しい能衣装や金屏風のほか、中央アジアのトルクメニスタンの銀の装身具を数多く展示します。この機会にぜひ、きらめくものの魅力ある世界をお楽しみください。

## 第1章 ひかるものな～んだ

人々は輝くものに畏怖を抱き、憧れてきました。このコーナーではそれ自体が輝くものであったり、人々が憧れ表現してきた「輝くもの」の素材として利用されたものを紹介します。光る素材にはなにがあったのでしょうか？

## 第2章 神さま仏さまはひかる

太古の人々は太陽や火から様々な神さまや仏さまを信仰してきました。その神仏を人々は「輝くもの」として表現し、輝くもの

を用いて装飾してきました。このコーナーではそうした信仰をテーマに輝くものをご紹介します。

## 第3章 王さまやお姫さまだってひかる

権力者は自らの権威を示すため黄金や宝石など輝くもの、高価なもので身を飾り、儀式的場を輝かせてきました。またその力は、美術や工芸の技術・表現などを高度に発展させてきました。このコーナーでは権力者や身分の高い人物に関する「輝くもの」をご紹介します。

## 第4章 琉球漆器もきらきらひかる

琉球王国では首里城で使うお道具のほか、日本や中国への贈り物の漆器を作っていました。それらの漆器には、金箔や貝を使ってきらびやかな文様を付けました。このコーナーでは、沈金や箔絵、螺鈿技法の輝くような琉球漆器をご紹介します。

## 第5章 みんなだいすき？ひかるもの

特別な権力者だけでなく、人々もまた輝くものに憧れ、手に入れることを望みました。それは財産であったり、ハレの日に身を飾ったり、家を飾ったものでもありました。このコーナーでは東西の様々な分野の輝くものをご紹介します。

【会期】平成30年9月14日（金）～10月28日（日）

【観覧料】一般800円（600円）、大学生600円（400円）  
65歳以上、モノレール1日乗車券使用者は団体料金  
高校生以下無料 ※（ ）は20名以上の団体料金

【会場】企画展示室

【講演会】「きらびやかな漆」

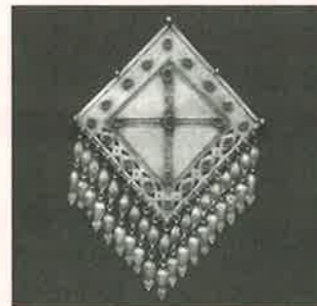
日時／9月16日（日）受付13：30～ 講演14：00～16：00  
講師／室瀬和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者（人間国宝））  
会場／美術館講堂  
備考／企画展観覧券が必要です。

【講演会】「斎場御嶽の金の勾玉」

日時／9月23日（日）受付13：30～ 14：00～16：00  
講師／大城秀子（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）  
会場／美術館講堂  
備考／企画展観覧券が必要です。



（重要文化財）斎場御嶽出土品  
掲載許可：南城市教育委員会  
※本展での銭貨の展示はありません。



菱形胸飾り  
ポーラ文化研究所蔵

## 第19回 浦添市小中学校美術作品展

本展は、当美術館が市内19校の小中学校、特別支援学校の美術教育と連携して実施する自主企画展です。今年で19回目を迎え、例年約300点の選抜された優秀な絵画やデザイン、立体作品が展示室を飾ります。

### 審査委員長の神山泰治先生のコメント

作品のレベルは、各学校から選ばれてきますので素晴らしい作品ばかりで、制作領域も広く賞を決定するのに大変苦勞します。特に廃材を利用し組み立てた作品や、共同制作による作品には圧倒されます。これらの制作過程には、指導者のアドバイスがあつての完成なので脱帽します。今回も創意工夫された多くの作品に出会えることを楽しみにしています。

さて今年は、どのような作品が私たちの目を楽しませてくれるのでしょうか。ぜひ足をお運びください。

【主催】浦添市・浦添市教育委員会

【会期】12月19日（水）～1月14日（月）



展覧会の様子



第18回 中学校の部 市長賞

### 学芸員のヒトリゴト ～撮るときは「ひょっこり」で～

表紙を飾っている「琉球風俗図」は、顔だしパネルとなつて館内で写真撮影ができます。パネルは、男女三人が楽しそうに宴会をしている場面です。しかし、表紙の写真をもう一度、よく見てください。他の人物がひょっこりと顔をだしているのがわかりますか。この登場人物にあなたがなりきってみましょう。ぜひ、浦添市美術館にお越しの際には、顔だしパネルで『ひょっこり』記念写真を撮ってみてください。